



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



## サクラ：令和5年3月、桜ノ宮・源八橋付近で撮影

トピックス：令和5年度近畿中国森林管理局重点取組について

ニュース：鳥取森林管理署、奈良森林管理事務所、島根森林管理署

お知らせ：森林のギャラリーほか

花草木：アセビ

我が署のスタッフ：兵庫森林管理署

森林事務所紹介：勝山森林事務所（岡山森林管理署）

国有林最前線：石川森林管理署

## トピックス

令和5年度 近畿中国森林管理局重点取組事項  
について

## 【企画調整課】

近畿中国森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業・木材産業の発展に向け、3つの大きなテーマのもと、「令和5年度 近畿中国森林管理局重点取組事項」を策定し、取り組んでまいります。

## 1 公益重視の管理経営の推進等

近年、頻発化・激甚化する自然災害による被害からの早期復旧に取り組むとともに、地域の安全・安心を確保するため、流域治水と連携した国土強靱化対策を実施します。

## ○国土強靱化への取組



石川県白山市 手取川地区  
湯の谷

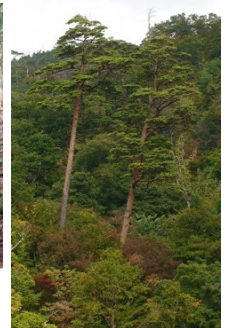


国土交通省・地元自治体との  
技術交流会  
(奈良森林事務所管内)

## ○生物多様性の保全



胸高直径 190cmの巨大スギ  
あかさい  
(赤西国有林)



200年を超える滑マツ  
なめらやま  
(滑山国有林)

## ○林産物の安定供給・利用



システム販売材 山元土場



内装の木質化 (島根森林管理署)

## 2 「新しい林業」の確立に向けた取組の展開

森林・林業基本計画 (R3.6.15 閣議決定) に基づき、イノベーションで伐採から再造林、保育の収支をプラスへ転換させる「新しい林業」の実現に向け、「新しい林業」推進プロジェクトチームを設置 (R4.3.25) しており、組織の総力を挙げて、生産性向上や低コスト再造林、効率的な鳥獣被害対策等の実証・普及に取り組むこととしています。

また、その成果は民有林への普及を図っていきます。

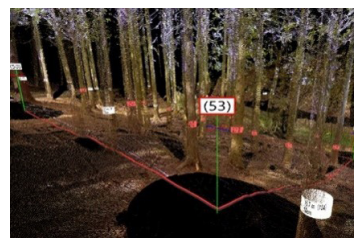
## ○林業の低コスト化・省力化に向けた取組



防護柵の耐雪性、耐久性実証  
実験  
にしがも  
(西鴨国有林)

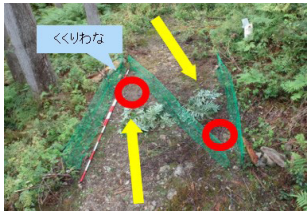


低密度植栽の取組  
しんちんしげやま  
(新元重山国有林)



3次元レーザスキャナの解析画像

○鳥獣害対策の推進



ノウサギ N 型誘引捕獲罠



小林式誘引捕獲法による罠

○ ICT 技術の活用推進



ドローン撮影画像 (左) から作成した被害箇所  
の 3D モデル (右)



ウェアラブルカメラを利用し  
た遠隔臨場の様子 (現場)



ウェアラブルカメラを利用した  
遠隔臨場の様子 (事務室)

3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及

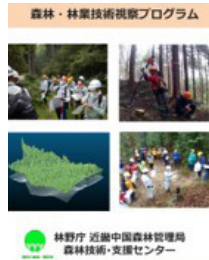
戦後植林された人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させることが重要です。これらを民有林と国有林が協力して実現させるべく、国有林のフィールドや技術を活用した民有林関係者等への支援に取り組んでいきます。

○市町村支援に関する情報発信



市町村支援メニュー

○森林・林業技術視察プログラム



森林・林業技術視察プログラム

○民有林への出張講座



民有林関係者への  
ドローンの操作演習

○現地検討会



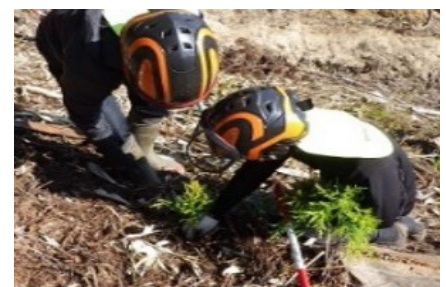
3次元レーザスキャナシステムを用いた現地検討会

○災害発生時の初動対応・民有林支援



ヘリコプターによる調査

○林業大学校等への支援



コンテナ苗の植付実習  
つちやま  
(土屋山国有林)

○森林環境教育の推進



森林環境教育プログラム  
みのお  
(箕面国有林)

令和 5 年度重点取組については、近畿中国森林管理局 web サイトへ掲載しておりますので御覧ください

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/kiaku/230428.html>



# スイス式集材システムの実演による現地検討会を開催しました。

【奈良森林管理事務所】

## スイス式集材システムの実演を行います！

### スイス・Wyssen社製集材システムの特徴

- ・油圧式（オートマチック）
- ・重力式の高速集材
- ・少人数で架設、撤去
- ・自走登坂可能
- ・緊急停止機能装備
- ・軽重で2t車運搬可能
- ・吊上能力最大3t



### 開催プログラム

- 13:30～13:40 開会あいさつ  
13:40～15:00 スイス製高性能集材機の稼働実演  
15:00～15:25 意見交換 ※小冊子発行  
15:25～15:30 閉会あいさつ

開催日時：令和5年2月22日（水）13：30～15：30（昼休：13：00）  
会 場：高取山国有林（奈良県高市郡高取町）※真直に案内図配布  
申し込み方法：裏面申込書により、メール（[sc\\_nara@maff.go.jp](mailto:sc_nara@maff.go.jp)）にてお申し込みください。  
申し込み期限：令和5年2月18日（木）15:00～17:00※1200～1300は早く  
お問い合わせ：ご不明な点は下記までご連絡ください。  
〒630-8035 奈良県高市郡高取町1143-20  
林野庁 近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所  
担当：森林政策推進官 大石  
TEL：0742-53-1500

主催：奈良森林管理事務所、西垣林業株式会社、奈良県フォレスタアカデミー

## 現地検討会の案内チラシ



スクリーンに架設等の動画等を写しながら説明

つ省エネルギーでの長距離集運材が可能、②索張りがシンプルなことから架設・撤去が早く、危険な内角が少ない、③吊り荷の上げ下ろしはリモコンで荷掛手が操作可能、④集材機の自走登坂やへり輸送（二分割可）などがあげられます。

重力を利用した同システムは集材機が先山（斜面上方）にあり、土場等からは視認できないことから架設等の状況（集材機が自走する様子）などをスクリーンに映しながらの説明となりました。

索張りの架設・撤去が早く、安全かつ操作が容易であり環境への負荷も少ない同システムは、災害防止と森林管理の両立が図れることから森林・林業・木材産業の新たな打開策となることが期待されています。

当所では、今後も新しい技術の普及に努めていきたいと考えています。



自走する集材機



設置された集材機

奈良森林管理事務所では、奈良県フォレスタアカデミー、西垣林業株式会社と協力して2月22日（水）、奈良県高市郡高取町に所在する高取山<sup>たかとりやま</sup>国有林において、奈良県内の行政機関や森林組合などの林業関係者約50名の参加者が集い、スイス式集材システムの現地検討会を開催しました。

奈良県内の山林は急峻であり、特に県南部においては路網による車両系集材システムは困難な地域が多く、架線集材が主流ですが、架設等におけるコストと技術の習得に時間を要することが課題となっていました。

奈良県フォレスタアカデミー（令和3年4月開校）から架設と集材機の運転等が比較的容易な「スイス式集材システム」の導入に向けて、実演可能なフィールドを探しているとの問い合わせがあり、高取山国有林を実演場所として提供

することとしていましたが、同国有林の立木販売（令和3年度分収育林）買受者である西垣林業株式会社（奈良県桜井市）の協力を得て、3者主催で同じ課題を抱える県内の自治体と林業事業体等を交えての検討会を開催することになりました。

当日は、集材機メーカーであるスイスの「ヴィッセンケーブルシステムズ」CEO 外2名が来日され、通訳を交えての説明となりました。

スイス式集材システムの特徴は、①重力を利用した高速かつ

## 『にちなん中国山地林業アカデミー卒業式』に出席しました。

### 【鳥取森林管理署】

3月16日(木)にちなん中国山地林業アカデミー(鳥取県日南町)で、第4期生12名の卒業式が執り行われ、森林技術・支援センター所長とともに当署長が出席しました。



署長祝辞

卒業式では、中村学長から町産のヒノキで作られた卒業証書と日南町林業準学士の称号が贈られました。

来賓祝辞では、片山署長から卒業生に対して、<sup>つちやま</sup>土屋山国有林でのスギコンテナ苗の植栽実習の思い出とともに、ICT機器やエリートツリーの導入など林業の新しい時代を進む卒業生に『グリーン成長』を目指して、皆さんの力で林業イノベーションを起こしてください』とエールを贈りました。

卒業生代表からは、学長らに「仲間と共に学んだことを活かし、健全な森づくりに貢献したい」と力強い決意表明がありました。

鳥取森林管理署では、引き続き、国有林内での実習受け入れ等アカデミーの人材育成に協力していく考えです。

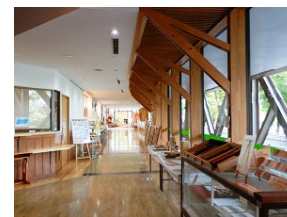


卒業式集合写真

卒業生は、春から鳥取県内で7名(うち町内2名)が就職するなど、全員が林業に従事する予定です。

## お知らせ

### 森林のギャラリー(局庁舎1階)



### 【技術普及課】

○4月10日(月)～5月8日(月)の展示は、近畿中国森林管理局の重点取組、高知県大阪事務所、NPO 国産材住宅推進協会です。

ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



### 【計画課】

○林野庁近畿中国森林管理局では「東中国山地緑の回廊」の区域を下記のとおり拡張するのでお知らせします。

なお、今回廊の拡張は平成19年の設定以来、初となります。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/230329.html>



### 【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙(59通目)を発行しています。これまでのバックナンバーを載せていますので、ぜひご覧下さい。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/oosugitegami.html>



### 【箕面森林ふれあい推進センター】

○<sup>みのお</sup>箕面の森で一緒に、イベントを実施してみませんか? 令和5年度 森林ふれあい推進事業の共催団体を募集しています。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/fureai\\_suishin/fureai\\_suishin.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/fureai_suishin/fureai_suishin.html)



## 花草木

### 【アセビ】

アセビ（学名：Pieris japonica subsp. japonica）は、ツツジ科アセビ属に属する常緑性の低木です。

早春に穂になって咲く小さな白い花や、紅色の新芽、濃い緑色の葉が美しいアセビには、日本のアセビ（Pieris japonica）のほか、ヒマラヤ地域から中国雲南省などに分布するヒマラヤアセビ（P. formosa）などが庭木や鉢物として栽培され、園芸品種も数多くあります。

日本にはアセビ（P. japonica）とリュウキュウアセビ（P. japonica ssp. koidzumiana）が自生します。

葉や茎には、有毒のアセトポキシンが含まれているため、馬が食べると毒にあたって酔ったようにふらふらとした足取りになることから、漢名で馬酔木（アセビ）と書かれるようになったとされます。そのためかシカなどの食害の多い場所でも食害されずにアセビが残っていることが多く見られます。

アセビの花言葉は「犠牲」「献身」「あなたと二人で旅をしましょう」です。



市内で見つけた花が咲いているアセビ

## 我が署のスタッフ

### 兵庫森林管理署

末光 弘明（すえみつ ひろあき）（令和4年度採用）

#### 【現在取り組んでいる仕事は？】

令和4年度は治山グループの係員として、小さなダムを造る治山工事を担当しました。ダムの設計図を描いたり、工事の監督をしたり、やってみると他にもたくさんの作業があることが驚きでした。3月で工事も完了し、現在は別の治山工事の監督を行っているところです。丁寧な仕事を心掛け、これからも森林の保全に貢献していきたいと思います。

#### 【職場の雰囲気は？】

風通しがよく、気になったことを何でも気兼ねなく聞くことのできる雰囲気です。

上司・先輩方のいろんな考えを聞くことができるので、非常に勉強になります。

#### 【林野庁の魅力は？】

いろんな土地へ行き、いろんな文化に触れることができる場所です。これまで出会うことのなかったその土地の文化・歴史は、いつも刺激的な驚きや気づきを与えてくれます。そうした文化は山間部に色濃く残っており、全国に広く国有林を持つ林野庁ならではの魅力だと思います。



ダムの完成状況を確認しています。

## 森林事務所紹介

### 勝山森林事務所（岡山森林管理署）

首席森林官 山本 あゆみ（やまもと あゆみ）

勝山森林事務所は岡山県の北中部に位置する真庭市にあり、真庭市のほぼ全域と新庄村が管轄区域で、林業・木材産業が盛んな地域です。雪が多い地域であり、冬には積雪により山に入れなくなることもしばしばあります。



みさかやま ひるせん かみひるせん  
三阪山国有林の山頂から蒜山・上蒜山国有林方面を望む

ところで、森林官はどのような仕事をするのかと度々質問を受けます。森林事務所により仕事内容が異なりますが、全ての森林事務所に共通して行う仕事のひとつが、森林計画の策定資料「署長意見書」を作るための森林調査です。

国有林では森林計画区ごとに5年を1期とする森林計画を策定し、これに基づいた管理経営を行っています。岡山森林管理署管内には3流域の森林計画区（旭川・吉井川・高梁川下流）があり、令和4年度は旭川森林計画区が「署長意見書」の作成年度にあたり、当森林事務所の管轄区域は全てその対象となりました。

広い管轄区域の森林調査は、1年で出来るものではありません。前任の森林官がこれまで積み上げてきた各種調査等の結果を取りまとめ、報告するため責任重大です。

特に、次の5年間の森林施業を検討する際には蓄積したデータの重要性を痛感しました。歴代の調査結果が次の計画に反映される、やりがいのある仕事です。私も5年後の森林計画に役立てるように山を歩いて情報を蓄積していきたいと思います。



ほしやま  
星山国有林山頂



森林官の林況調査

# シリーズ『国有林 最前線！』

## 海岸防災林を守る取り組み

## ～加賀海岸国有林～

### 石川森林管理署



加賀海岸国有林



有人ヘリの特別防除（薬剤の空中散布）

石川森林管理署の所管する加賀海岸<sup>かがかいがん</sup>国有林は、日本海から吹き上げられた飛砂で形成された砂地で、過去には暴風により人家・田畑が埋没する被害が度々発生し、人々の生活を苦しめていました。このため、長い年月と多くの人々の熱意により、長さ4 km、幅500 m～1,200 mの広大な面積に雄大なクロマツ林を造りあげました。

近年では、松くい虫被害の拡大にともない、地元等からクロマツ林の防災林機能の維持と保護を求める要望があがってきたため、専門家の意見を聞きながら特別防除及び伐倒駆除<sup>\*</sup>を実施しており、昨年度は、松くい虫被害木約15千本の特別伐倒処理と有人ヘリによる特別防除約193haを実施するとともに、被害跡地に抵抗性クロマツ300本を植栽しました。

また、マツ以外の樹種の計画的な転換を推進するため、付近の砂地で自生している早生樹センダンの植栽試験を県林業試験場と連携して取り組むほか、若手職員が中心となって、センダンの育苗に挑戦することと

して、昨年秋にはセンダンの種子を採取し、果肉の除去をしたうえで乾燥を防ぐために土壤に混ぜて冷蔵保存を行いました。

このセンダンの育苗については、この春以降、播種、養苗し、秋には加賀海岸国有林に植栽する予定で、関係者と連携しつつ早生樹センダンの防災林としての可能性を検証・検討を行うこととしています。

このように当署では、先人たちが苦勞して造りあげてきた加賀海岸国有林の防災林を守るため、今後とも松くい虫被害対策や海岸防災林の維持整備などの取り組みを地域とともに進めていきます。

※伐倒駆除は、切り倒した被害木を殺虫剤散布により駆除する方法と、切り倒した被害木を粉碎しチップ化したり、焼却して駆除を行う特別伐倒駆除があります。



市民による広葉樹の植樹



職員によるセンダンの果肉取り